

◆生徒のみなさんへ◆

読書は、ことばを学び、感性を磨き、学びの基礎をつくるなど、豊かな心とすぐれた知性をはぐくむ大切な営みです。特にこれから大きく育っていく小・中・高校生のみなさんには、さまざまな本に出会い、読書の楽しみを味わうとともに、多くのことを学びとってほしいと思います。

この「すすめたい100冊の本」は、県内の小・中・高等学校および特殊教育諸学校の児童生徒のみなさんから「私のお気に入りの本、友だちにすすめたい本」を、さらに、先生方から「児童生徒にぜひすすめたい本」をそれぞれ推薦していただき、その結果をもとに、小学校編、中学校編、高等学校編の各100冊を選んだブックリストです。みなさんから推薦していただいた本の種類は、3000種類を超え、リストには、さまざまな分野から選ばれたすぐれた本が載せられています。

この「すすめたい100冊の本」を手がかりに、みなさんの読書の世界がさらに広がることを、心から期待しています。

この本の構成について

- 本の種類を「絵本」「詩」「短歌」「読み物」「知識」の5種類に分けています。
- 推薦の多かったものは、本の表紙を載せました。
- 富山県出身の作家の本や富山県を題材にした本は、コーナーを設けて紹介してあります。
- 現在出版されていない本は、▲印をつけてあります。これらの本は市町村の図書館や学校の図書館で読んでください。
- 表紙のイラストは、大島町絵本館第三回全国手づくり絵本コンクール絵本の町大賞の二日市 彩さん作の「みえちゃんのゆめ」から使用させていただきました。

すすめたい
100冊の本

高等学校編